



平成 22 年 5 月 18 日

日赤医療センターおよびメディネットと共同で 悪性リンパ腫に対し、抗体医薬とガンマ・デルタ T 細胞療法とを 併用する新たな共同臨床研究を開始

免疫細胞療法の専門医療機関である医療法人社団 澁志会 瀬田クリニックグループは、日本赤十字社医療センター（東京都渋谷区、以下「日赤医療センター」）および株式会社メディネット（神奈川県横浜市港北区、代表取締役 CEO 木村 佳司、以下「メディネット」）と共同で、抗体医薬と免疫細胞療法との併用療法による相乗効果を期待し、悪性リンパ腫に対する新たな治療選択肢の確立を目指した共同臨床研究を開始しましたのでお知らせいたします。

本共同臨床研究は、日赤医療センターとメディネット、瀬田クリニック東京および瀬田クリニック新横浜との共同で、日赤医療センターの血液内科 鈴木憲史部長を研究責任医師として実施し、CD20 陽性悪性 B 細胞性リンパ腫の再発又は難治例に対し、リツキシマブとガンマ・デルタ T 細胞療法との併用治療による安全性と有効性を検証することを目的としています。今回の研究は 15 名の方を対象に実施する予定にしています。

現在、がん治療において注目されている抗体医薬は、免疫力を治療に活かすことを目的に開発された医薬品であり、日本では、悪性リンパ腫、大腸がん、乳がん等の治療に採用され、一定の成果をあげております。抗体医薬が抗腫瘍効果を十分に発揮するためには、作用機序の1つであるADCC（抗体依存性細胞傷害:Antibody-dependent cellular cytotoxicity）を増強することが重要であり、また、そのADCC効果の発揮には、生体内の免疫細胞が非常に重要な役割を果たすと言われております。また、近年では、ADCC効果を効率的に増強させ、より優れた臨床効果を示す抗体医薬品の開発が世界中で行われています。

瀬田クリニックグループでは、近年活発に開発が進められている抗体医薬のADCC（抗体依存性細胞傷害）作用に対してガンマ・デルタ T 細胞が働くことに早くから注目して研究を進める中で、既に、基礎研究では、がん細胞の殺傷においてガンマ・デルタ T 細胞療法と抗体医薬とを併用することでの相乗効果を得ることができるという結果を確認しております。¹そのため、免疫細胞療法と抗体医薬との併用は、抗体医薬の効果をより向上させるものであり、がん治療分野において新しい集学的治療法になる可能性があると考えております。今般の共同臨床研究では、瀬田クリニックグループがこれまでに得た研究結果をもとに、現在、悪性リンパ腫の治療薬として使用されているリツキシマブ単独では十分な治療効果を享受できなかった再発又は難治例の悪性リンパ腫の患者さんに対して、ガンマ・デルタ T 細胞療法²を併用療法として実施することで得られる相乗効果によって、より高い治療効果を示す新たな治療選択肢を提供できるものと期待しております。

以上

本件に関するお問い合わせ：

医療法人社団 澁志会 法人事務所
神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-14
TEL：045-478-0223
Email：info@j-immunother.com
URL：<http://www.j-immunother.com/index.html>

i 医療法人社団 澁志会 瀬田クリニックグループ

1999年4月に免疫細胞療法の専門医療機関として開院し、現在は、東京、札幌、新横浜、大阪、福岡と5つのクリニックと49を超える連係医療機関との医療連携により、患者さんが全国各地で免疫細胞療法を受診いただける環境の構築を進めております。これまでに受診いただいた患者様は1万名を超え、免疫細胞療法について蓄積した経験や症例数は、世界でも類を見ない規模となっております。

ii 詳しくは、下記の瀬田クリニック HP をご覧下さい。

「抗体医薬との併用における効果」

<http://www.j-immunother.com/effect/offer3.html>

「ガンマ・デルタ T 細胞と抗体医薬の併用効果」

http://www.j-immunother.com/effect/offer_pop02.html

iii **ガンマ・デルタ T 細胞療法 (γ δ T 細胞療法)**

末梢血液中に含まれるガンマ・デルタ型 T 細胞を、がんの溶骨性骨転移等で使用されるアミノビスホスフォネート製剤と IL-2 の組み合わせによって選択的に活性化、増殖させて患者自身の体内に戻す治療法。アルファ・ベータ T 細胞療法と比較して、より活性化されたガンマ・デルタ型 T 細胞が数多くを占めます。

瀬田クリニックグループでは、2007年10月より、新たな治療技術としてガンマ・デルタ T 細胞療法の提供を開始しております。